

講義科目名称：日本語リテラシーⅢ（作文、論文）

授業コード： A0151 A0152 A0154 B0151
B0152 B0153 B0154 B0155
B0156 B0157 他2件

授業科目の区分等：基礎教育科目 表現力の養成

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	2 年	1	必修
担当教員			
各担当教員			
C（商学部）	L（基礎科目）	SM（演習）	201（中級科目）

授業のねらい（概要）	ゼミナール形式の授業により、知的活動、職業生活、社会生活に必要な、日本語の基本的運用能力育成を目的として、現代社会の重要なテーマや現代社会が直面する諸課題を取上げ、それに対する自身の見解を含めた作文や論文などの文章作成に関する能力を養成し、意思や思想の伝達について学修する。 パラグラフとアウトラインの構成を意識した実習を毎回行なう。小論文執筆、要約、リライトなどの課題を授業前に求め、授業時に添削の解説と相互レビューを行なう。チーム単位で行なう課題も含まれている。素材や課題として、ニュースなど事実を元にした文章や、価値判断や主張を含むオピニオンの文章も取り扱い、文章の読解力・データの分析力や、リサーチスキルに加え、メディアリテラシーも、執筆と並行して深める。 全体を通して、問題解決力、コミュニケーション力、チームワーク力などの汎用的技能を支える日本語運用能力の演習を行う。併せて授業担当者やメンバーとの触れ合いを通して、教養の涵養と自主・自立の人間性を育む。 科目のテーマと関連した、学外講師（実務家、専門家、クリエイターなど）による特別講演を行なう		
授業計画	第 1 回	【遠隔】 オリエンテーション(予習 シラバスを読み学修内容を確認(30min) / 復習 シラバスのキーワードを確認(30min))	
	第 2 回	【遠隔】 書く基本[パラグラフ編](予習 配付資料の予習課題(30min) / 復習 教科書あるいは配布資料の該当箇所を読む(30min))	
	第 3 回	【遠隔】 書く基本[アウトライン編](予習 配付資料あるいは教科書で指定した予習課題(30min) / 復習 教科書aあるいは配布資料の該当箇所を読む(30min))	
	第 4 回	【遠隔】 文章を読んでリライトする(1) (予習 教員の指示による予習課題(30min) / 復習 解説の確認あるいは教員が指示した教科書の自学箇所の確認(30min))	
	第 5 回	【課題】 文章を読んでリライトする(2) (予習 教員の指示による予習課題(30min) / 復習 自分や他の受講生への添削、講評の確認(30min))	
	第 6 回	文章を要約する[ニュース・事実編1] (予習 資料を使った教員の指示による予習課題(30min) / 復習 解説の確認あるいは教員が指示した教科書や資料の自学箇所の確認(30min))	
	第 7 回	【課題】 文章を要約する[ニュース・事実編2] (予習 資料を使った教員の指示による予習課題(30min) / 復習 自分や他の受講生への添削、講評の確認(30min))	
	第 8 回	文章を要約する[オピニオン・主張編1] (予習 資料を使った教員の指示による予習課題(30min) / 復習 解説の確認あるいは教員が指示した教科書aや資料cの自学箇所の確認(30min))	
	第 9 回	【課題】 文章を要約する[オピニオン・主張編2] (予習 資料を使った教員の指示による予習課題(30min) / 復習 自分や他の受講生への添削、講評の確認(30min))	
	第 10 回	小論文を書く[ニュース・事実編](予習 教員の指示による予習課題(30min) / 復習 解説の確認あるいは教員が指示した教科書等の自学箇所の確認(30min))	
	第 11 回	小論文を書く[オピニオン・主張編](予習 教員の指示による予習課題(30min) / 復習 自分や他の受講生への添削、講評の確認(30min))	
	第12 回	チームで問題解決を提案する1[計画](予習 教員の指示による予習課題(30min) / 復習 (12回)自分や他の受講生への添削、講評の確認、(13回)問題解決の流れを確認(30min))	
	第 13 回	チームで問題解決を提案する2[調査・執筆](予習 教員の指示による予習課題(30min) / 復習 発表あるいは執筆準備(30min))	
	第 14 回	チーム編の相互評価(予習 発表あるいは執筆準備(30min) / 復習 相互評価結果の確認(30min))	
	第 15 回	まとめ(予習 教員の指示による予習課題 / 復習 最終課題の確認)	
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DPの1. 職業人的倫理観を持ち、組織で協働できる能力 2. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 の習得を目指す。 【身に付くスキル】 表現力・生涯学習力		
到達目標	1. パラグラフの構成とアウトラインの構成を意識して文章を読み、まとまった文章を書くことができる。 2. 事実を元にした複数の文章を要約し、対比、評価を行なった文章を書くことができる 3. 価値判断を含む複数の文章を要約し、論点を整理するとともに自らの議論を展開した文章を書くことができる		

	る 4. メディアを適切に利用して情報収集し、総合することができる。 5. メディアの特性を知り、主体的・批判的に情報の評価を行なうことができる。 6. 共同作業での執筆・制作など、短期的な目標に対して、計画・実行・評価・改善のサイクルを複数回実施することができる。 7. 大学での学びや進路に向けての目標を確認し、大学1年次の評価を元に、改善・計画・実行・評価を行なうことができる。 8. 積極的に発言でき、他の人の考えや意見を聞くとともに、自分の考えや意見を伝えることができる。 9. グループでの共同作業を計画的に進めることができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題への個別添削、全体的な講評、共同作業支援など、授業担当者の判断で行う。
履修上の注意	大学における学修・研究、また社会生活、職業生活の基礎となる科目であり、少人数の演習形式科目という性質上、主体的な参加が必要である。以下の事項について十分に注意すること。（１）遅刻、欠席は極力避ける。（２）病気など、やむをえない欠席の場合には事前に担当者に連絡する。（３）他メンバーの発言に耳を傾け、積極的に発言する。（４）社会や自己について日頃より考え、大学での自らの学修のテーマとの関わりを意識する。
成績評価の方法・基準	到達目標1, 2, 3(日本語運用能力・ライティングスキル) :: 50%(授業の参加度、提出物などで評価) 到達目標4, 5(リサーチスキル・メディアリテラシー) :: 20%(授業の参加度、提出物などで評価) 到達目標6, 7(目標管理・自己管理) :: 15%(授業の参加度、提出物などで評価) 到達目標8, 9(コミュニケーションスキル) :: 15%(授業の参加度、提出物などで評価)
教科書	[ライティング]に関する教科書を1冊、授業担当者が以下から選択 「ピアで学ぶ大学生の日本語表現」大島 池田 他 ひつじ書房 1600円 「シカゴスタイルに学ぶ、論理的に考え、書く技術」吉岡友治 草思社 1728円 「伝わる日本語 練習帳」阿部圭一他 近代科学社 1800円 [議論][論理]に関する教科書を1冊、授業担当者が以下から選択(日本語リテラシーIVでも使用) 「論理が伝わる世界標準の「議論の技術」」倉島保美 講談社ブルーバックス 900円 「議論のレッスン」福沢一吉 生活人新書 NHK出版 680円 「論理的に説明する技術」福沢一吉 サイエンスアイ新書 ソフトバンククリエイティブ) [事実やニュース、価値判断やオピニオン]に関する資料を1冊、授業担当者が以下から選択(日本語リテラシーIVでも使用) 「日経キーワード」 1100円 「これからの日本の論点 日経大予測2018」 1800円 「文藝春秋2018年の論点」 1450円
参考書・教材	【参考書】「プレゼンテーションZEN プレゼンのデザインと伝え方に関するシンプルなアイデア」ガー・レイノルズ 丸善出版 2808円
備考	演習科目 2020年度は、5、7、9回を課題研究として学修する。 第5回 当初シラバスの「授業時の講義内容」に充当する課題文等の資料と「授業時の指示」を代替する資料の配信、および課題制作に関わる指示をmellyなどで行い、作成した文章の提出は当初シラバス通りに実施する。講評や校正指示も含めた指示確認等を3、4、6回の遠隔授業で行う。全体で150分の学修を想定している。 第7回 第5回同様の実施として、指示確認を6、8回の対面授業で行う。全体で150分の学修を想定している。 第9回 第5回同様の実施として、指示確認を8、10回の対面授業で行う。全体で150分の学修を想定している。
教員との連絡方法	初回授業時に授業担当者より指示する。